

# 平成21年度 第11回 保見地域会議 会議録

日時：平成22年2月19日（金） 19：00～21：00

場所：保見交流館 多目的ホール

出席者：地域会議委員：15名

会長 鈴木 進

副会長 井原邦和

委員 浅井雅之 粕谷 修 篠田 修 田中鉦俊 西村靖彦  
馬場日登美 平野鋒芳 藤原敏範 正木恒男 松原三良  
水嶋清行 村瀬正幸 渡辺秀己

保見地区区長会 10名（うち地域会議委員 4名）

区長会長 八木征司（東保見町）

古橋隆利（広幡町） 粕谷 修（八草） 大浦徳和（大畑）

田中鉦俊（保見町） 村瀬正幸（貝津町） 生田光郎（伊保町）

山田耕作（保見緑苑） 成瀬 壮（県営保見）

井原邦和（公団保見ヶ丘）

猿投支所 篠田 博 西塔 隆 澤田亜紀

傍聴人：1名

オブザーバー：保見交流館長

次第

## 地域会議会長あいさつ

### 協議1 地域予算提案事業と情報交換について （保見地区区長会との合同会議）

### 協議2 わくわく事業について

## 情報交換

## 事務連絡

議事（要約）

### 協議1 地域予算提案事業と情報交換について （保見地区区長会との合同会議）

会長 地域予算提案事業について、経緯、事業計画概要について説明する。

1年目は多文化共生をテーマに検討し、提案事業に結びついた。H21年度に保見団地内の4自治区に協力いただき、夏まつりを実施。防災訓練と交流（盆踊り、サンバ）をした。2年目の提案事業はアンケート結果からも、地域の課題として交通安全と防犯が多かったので検討してきた。

事務局 地域自治システムの仕組み（わくわく事業、地域予算提案事業）の内容について説明。

地域予算提案事業実施スケジュール（案）と地域と行政の役割分担（案）について説明。

《主な議論》

- 区長 「安全・安心なまちづくり」は自治区のテーマでもあるので良いと思うが、地域予算提案事業の内容が、自治区にとって緊急ではないと思われる。課題の絞り方がどうだったのか。
- 会長 住民アンケートの結果を踏まえて、各自治区から出ている地域会議委員全員の意見を聞いて決定した。
- 区長 テーマは区長会としても課題として取り上げており、理解できるが、各自治区にはもっと別の課題も多くあるので、それらの課題にも取り組むべきだと思う。
- 事務局 バイパス、渋滞解消、国・県道の整備については地域会議で解消できるものではなく、地域の陳情、要望など従来の仕組みの中でやるしかない。
- 区長 今後はもっと区長会と地域会議が連携をとって進めてほしい。事業の実施に向けては区長会に回ってくる人が多いので、地域会議委員が主になって進めてもらい、自治区がそれに協力するという形にしてほしい。
- 会長 できることは、地域会議で関わっていくが、チラシ配布などは自治区にお願いするしかない。今後の事業実施に協力してほしい。
- 協議 1 終了、区長退席

協議 2  
事務局

**わくわく事業について**

わくわく事業の改善案について説明。

《主な議論》

委員  
事務局

制限を設けたことによって申請が減少したか知りたい。

合併町村部においては申請が多いので、制限を設けている。反対に旧市内は申請が少ないので、制限を付けていないところが多い。

委員

10万円未満は基礎コース、10万円以上は発展コースであるが、発展コースは今までと同じであるので「発展コース」の表現はいらぬ。

基礎コースは20万円未満とし、プレゼンテーション無しとする方がよい。

事務局

基礎コースは20万円未満とし、来年度の申請受付の時点で基礎コースについて説明していく。

委員

収入については活動報告の中でしてほしい。

**情報交換**

なし

**事務連絡**

保見地域会議だより、シャングリラ足助PRチラシ 配布

次回の会議について

平成22年3月19日(金) 19:00~

保見交流館多目的ホール「わくわく事業成果発表会」